



われわれの提案するサービスによって、
お客様に喜ばれ、株主に喜ばれ、
そして社員の幸せにつながる会社を目指す。

企業の永遠の繁栄は、人を大事にすることにある。
みなが生き生きと働くことが繁栄をもたらす。

社会的責任なくして企業の発展はあり得ない。
社会と共に生き、人々に喜ばれ、
広く内外社会の発展に貢献する。



CSR REPORT 2014

編集方針

本報告書は株主、お客様、従業員、取引先、などの各ステークホルダーの皆様に、SBSグループのCSRの考え方、安全や環境などへの姿勢と取り組みについて、より理解を深めていただくために作成いたしました。様々な方々にお読みいただけるようにわかりやすさを心がけました。ご一読いただければ幸いです。



CONTENTS

トップメッセージ	03
SBSグループの事業基盤	05
健全な経営	07
安全の確保	09
環境への配慮	15
社会との調和	19

- 〔対象範囲〕 SBSグループ各社の活動実績 ※海外拠点については実績数値報告には含みません。
- 〔対象期間〕 2013年4月1日～2014年3月31日の活動を対象とし、一部に対象期間外のものも含みます。
- 〔参考情報〕 環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン2006」
- 〔その他情報〕 本報告書はSBSホールディングスのウェブサイトからもダウンロードできます。
〔提供手段〕 (<http://www.sbs-group.co.jp>)
- 〔発行〕 2014年9月(次回発行予定2015年8月)

CSRについてのお問合せ

CSR推進部
TEL: 03-3829-2367(直通)
FAX: 03-3829-2822

企業情報全般についてのお問合せ

IR・広報部
TEL: 03-3829-2240(直通)
IR財務情報
<http://www.sbs-group.co.jp/hdg/ir/>

社会から共感と信頼を得るために



はじめに、東日本大震災の発生から3年を経て、今なお厳しい環境の中で復旧・復興に取り組んでいらっしゃる皆様に改めてお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年度はグループシナジーの拡大に向けたグループブランド統一、念願であった東証一部上場を果たすなど、私たちSBSグループにとって大きな転換点となる年でした。即配事業からスタートした企業が、ここまで成長できたのも、皆様のご支援の賜と感謝申し上げます。

私たちSBSグループは、企業の物流業務をトータルでサポートすることをコアビジネスとし国内はもとより海外にも積極的に事業を展開しています。物流は、あらゆる産業にかかわりを持ち人々の生活や企業の経済活動に不可欠な社会インフラです。私たちは、自らが果たすべき役割の大きさを、あらためてしっかりと自覚しなければなりません。



SBSグループは、昨今の経済情勢や事業環境の激変、社会的責任と役割を踏まえ、2014年1月から4か年の中期経営計画「SBS Growth 2017」を策定しました。その実現に向けた重点目標として、事業戦略、投資戦略、グループ経営基盤整備に加え、CSR経営の推進を掲げ、

- 作業の安全確保や交通事故の防止などの安全対策を推進する
- 環境アクションプラン2017を柱に車両や施設からの環境負荷軽減を図る
- コンプライアンスの徹底と事業を通じた社会貢献に取り組む

の3つの社会的課題に取り組むことを明確にいたしました。

2013年4月～2014年3月までの主な活動は、CSR活動を推進する組織を見直し、私を委員長とするCSR推進委員会を発足、CSR経営の一

層の充実に向けた体制作りを行いました。また、2011年から取り組んできた2009年度のCO₂排出量を3年間で10%削減する計画「環境アクションプラン2013」は、目標を大幅に上回り、3年連続で平均17.5%の削減を達成し終了いたしました。

私たちはこれからも健全な経営、安全の確保、環境への配慮に取り組み、社会との調和を大切にするCSR経営を続けるとともに、ステークホルダーの皆様の声に耳を傾け、社会から共感と信頼を得られる企業を目指してまいります。今後もより一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

SBSグループ代表

鎌田正彦



健全な経営

コンプライアンス
の維持

安全の確保

事故ゼロを
目指して

環境への配慮

3つの柱
(車両・施設・社員)
による環境配慮

社会との調和

ステークホルダー
との関係維持

SBSグループの事業基盤

物流事業

- 3PL(サードパーティロジスティクス) ●トラック運送 ●低温物流
- 物流センター運営 ●流通加工 ●館内物流 ●国際物流
- 企業向け即日配送 ●法人移転・個人引越
- 鉄道利用物流 ●物流コンサルティング

物流支援事業

〔不動産〕

- 物流施設の開発・販売事業
- 不動産賃貸事業

〔その他〕

- 人材事業 ●環境事業
- マーケティング事業
- リース・保険事業
- 太陽光発電事業 他

(株)エルマックス

エーマックス

不動産事業

SBS
スタッフ

人材事業

SBS
サポートロジ

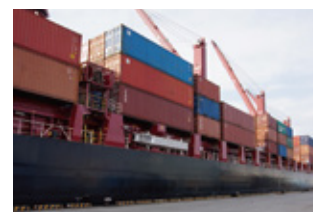
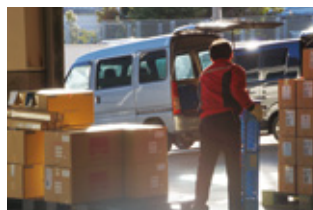
環境事業

SBS
即配

SBS
トランスポート

SBS
フレイト
サービス

SBS
ロジコム



グループデータ

- 〔企業数〕23社
 〔拠点〕国内:約400ヶ所/海外:34ヶ国88都市
 〔物流施設〕国内:約300ヶ所
 〔車両〕グループ合計:約3,100台
 内 普通車:約2,200台/冷凍車:約900台
 協力会社(備車):約3,000台
 フォークリフト:約740台
 〔人員〕グループ合計:約13,600名(海外除く)

2014年6月末現在

海外グループ

〔ASEAN〕

- SBS Logistics Holdings Singapore Pte.Ltd.
- SBS Total Logistics Malaysia Sdn.Bhd.
- SBS Logistics Vietnam Co.,Ltd.
- SBS Logistics Thailand Co.,Ltd.
- TAS Logistics Co.,Ltd.(Thailand)

〔中国〕

- 天愛陸物流(上海)有限公司
- 上海慶亜留塑料加工有限公司

〔香港〕

- SBS Logistics Holdings Hong Kong Ltd.
- SBS Logistics Hong Kong Ltd.

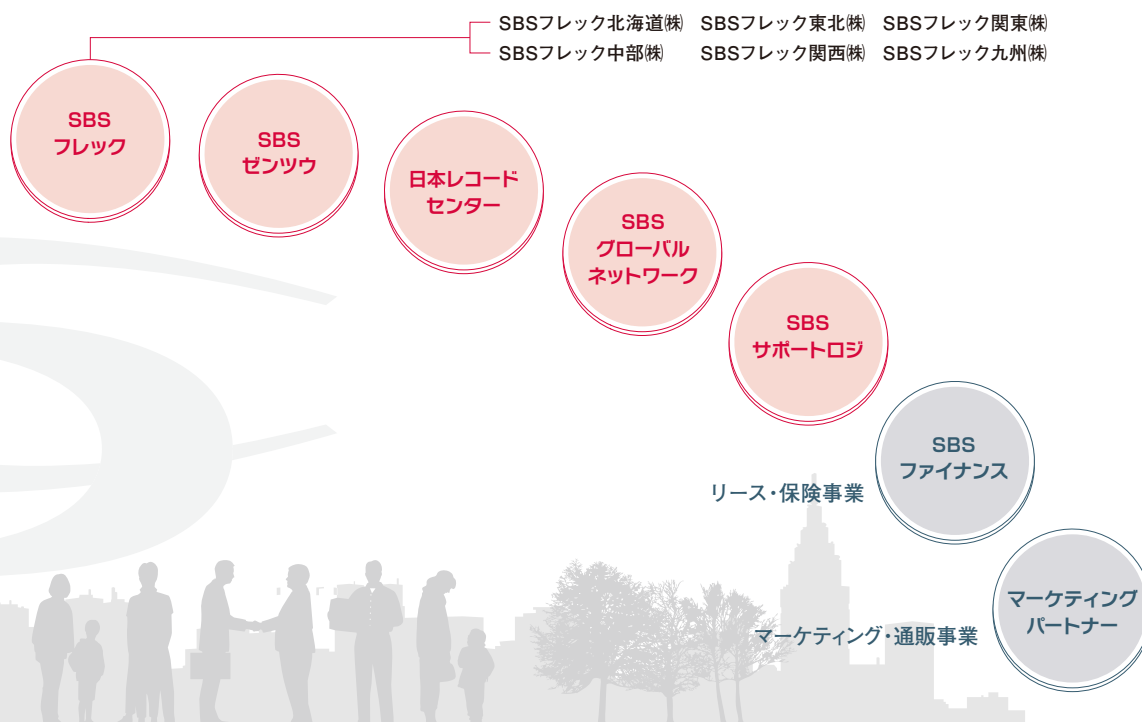
〔インド〕

- Atlas Logistics Pvt.Ltd.

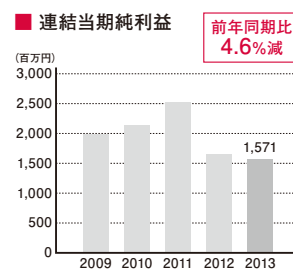
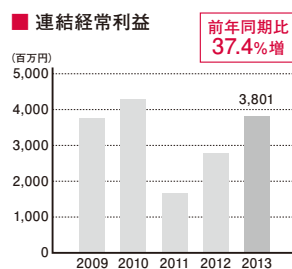
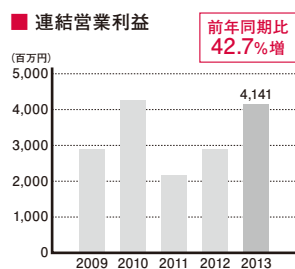
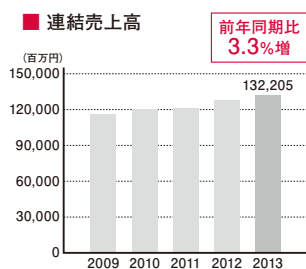
2014年6月末現在

SBSグループは、あらゆる産業につながり、
経済活動に必要不可欠な社会基盤のひとつである物流を事業領域としており、
持株会社であるSBSホールディングス(株)のもと、大きく2つの事業で構成されています。

主要国内事業会社



事業データ



健全な経営

SBSグループは、健全な経営を目指し、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の強化を通じて経営の迅速化と効率化を図り、健全性、透明性を確保し続けることで、信頼される企業としてステークホルダーの期待に応えていきます。

コーポレート・ガバナンスの取り組み

内部統制システムの整備

「内部統制の基本方針」を策定するとともに、内部統制推進事務局を設置し、内部統制の構築、推進に努めています。統制評価においては、毎年、リスクの再評価および対象範囲の見直しを行い、内部統制の整備・運用と効率的な評価の推進を図っています。SBSグループでは今後も継続して内部統制の改善を図り、財務報告の信頼性確保に努めます。

リスクマネジメント

〔グループリスク管理〕

「SBSリスク管理規程」および「SBSグループリスク管理マニュアル」を定め、経営活動の脅威となり得るすべての事象についてリスク管理の徹底を図っています。リスク管理システムを維持・運営するため、「リスク管理会議」を設置。グループ各社のリスク対策状況のモニタリングを実施し、リスク発生の未然防止に努めています。

〔情報セキュリティ〕

「SBSグループ情報セキュリティ基本方針」「SBSグループ情報セキュリティポリシー」を定め、情報セキュリティの維持・向上に取り組んでいます。また、推進機関である「情報セキュリティ推進会議」が各社の対策状況のモニタリングと教育・啓発の推進を行い、セキュリティレベルの堅持に努めています。

コンプライアンス

〔SBSグループのコンプライアンス〕

「SBSグループ行動憲章」および「SBSグループコンプライアンス規程」ならびに「SBSグループコンプライアンス・マニュアル」を定め、コンプライアンスの体制整備とその推進に取り組んでいます。また「SBSグループコンプライアンス・マニュアル」をグループ全社員に徹底し、公正で透明度の高い経営の推進に努めています。

〔コンプライアンス意識向上の取り組み〕

役員および社員に対し、定期的な研修と情報発信を行うことで、コンプライアンス意識向上を図っています。

〔相談・通報窓口の設置〕

グループ社員が職場環境や業務上での問題を気軽に相談できる相談窓口、およびコンプライアンス上の問題を通報できる窓口を設置、運用しています。

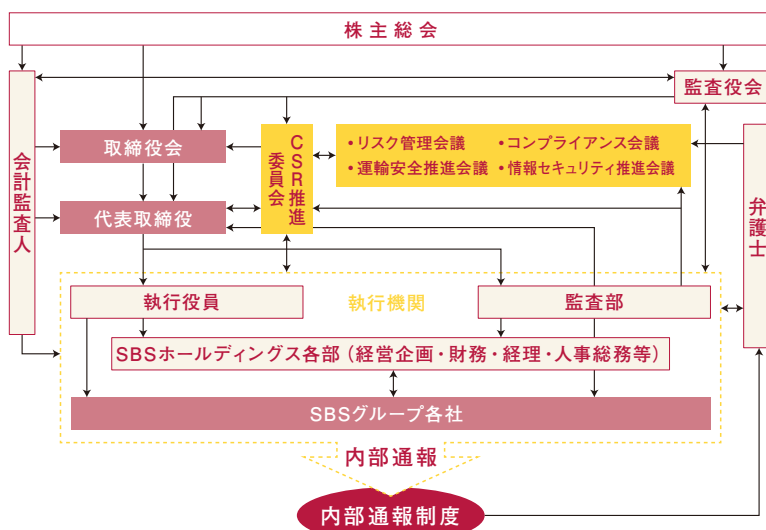
〔反社会的勢力の排除〕

反社会的勢力の排除についても、社会的責任の一環として取り組んでいます。「反社会的勢力への対応に関する基本方針」「SBSグループ反社会的勢力対策規程」および「SBSグループコンプライアンス・マニュアル」にその事項を定め、社員への教育および周知・徹底を図っています。

SBSグループ行動憲章



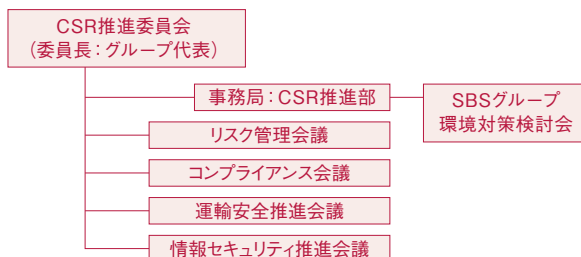
SBSグループコーポレート・ガバナンス 体制図



CSR推進委員会

CSR活動を推進するグループ横断組織として「SBSグループCSR推進委員会」を設置しました。コンプライアンス・リスク・運輸安全などSBSグループのCSR活動の統括推進を行います。

CSRの推進体制



コンプライアンス カリキュラム

従業員、一人ひとりがコンプライアンスの重要性を理解して、日々の業務に取り組むことで、コンプライアンス経営が成り立ちます。当グループでは、キャリアに応じたカリキュラムを用意し、定期的な意識啓発と情報発信を繰り返し行うことで、コンプライアンス意識と法を重視した企業風土を醸成しようと考えています。

経営 | 経営者コンプライアンスセミナー

国内外の最新事情を把握するためのセミナーです。グループ各社の全社長を中心に経営層が受講します。



動向把握

推進 | コンプライアンス推進委員研修

コンプライアンスの普及・浸透を担うグループ各社推進委員のための研修です。実践スキルの向上が目的です。

スキル
修得

啓発・教育 | 階層別研修

階層別研修ではコンプライアンスの意識醸成と基礎知識の修得を目的に幅広い内容のプログラムを用意しています。現在は7つの階層を対象に行われています。



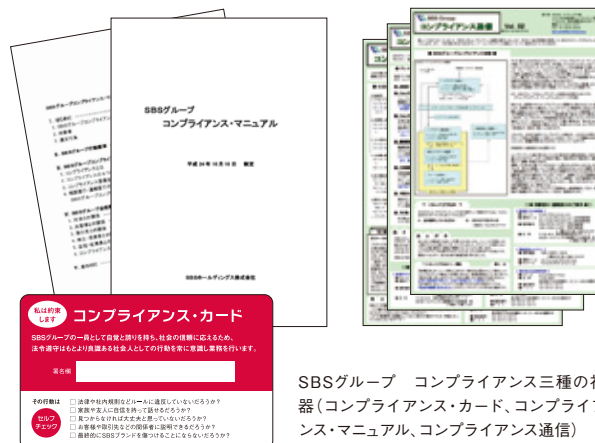
意識醸成

対象研修とプログラム(2013年12月末現在)

新入社員研修	- 内部統制 - コンプライアンス - 労務 - 情報セキュリティ - CSR - 環境対策
社会人3年目研修	
中堅社員研修	
監督職基礎研修	
監督職アドバンス研修	
管理職基礎研修	
管理職アドバンス研修	

コンプライアンス ツール

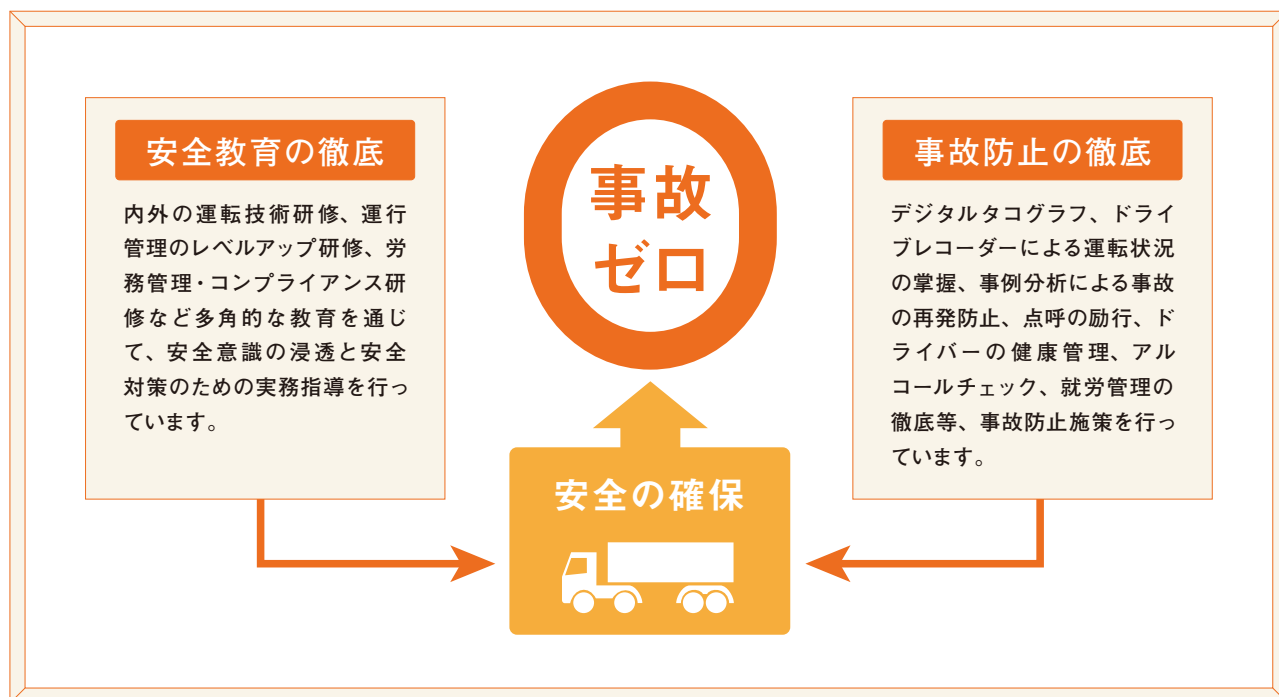
SBSグループの全従業員が共通の意識を持つことができるように啓発ツールを作成・配付しています。2013年は「コンプライアンス・カード」をグループ全役員・社員に配布しました。カードには行動指針と自らの行動をチェックするための5つの項目が記載されています。このカードを常に携帯し、随時参照することにより、自らの行動を見つめ直すことを目的としています。

SBSグループ コンプライアンス三種の神器
(コンプライアンス・カード、コンプライアンス・マニュアル、コンプライアンス通信)

安全の確保

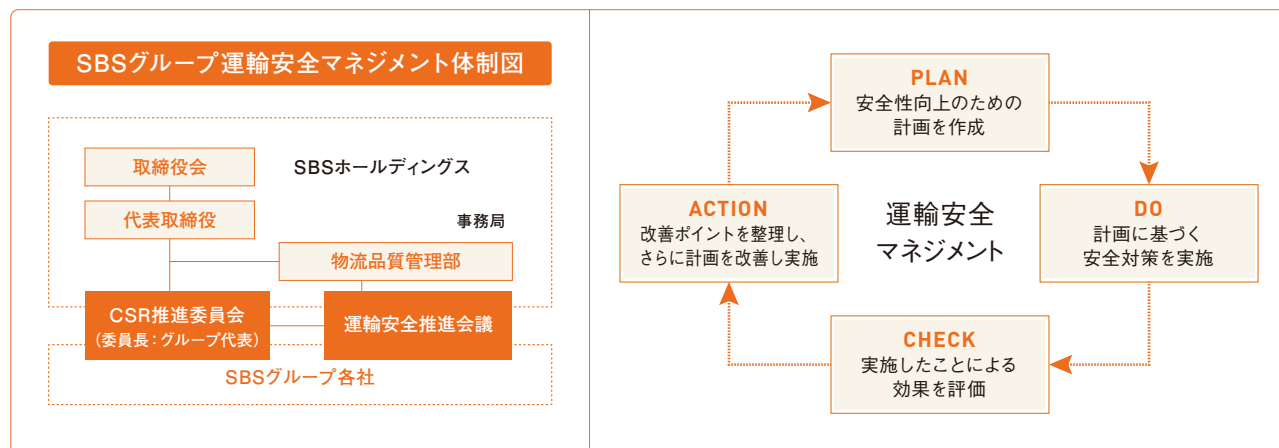
物流事業を主力とするSBSグループにとって安全・無事故は絶対に果たさなければならない最重要の課題です。輸送の安全を確保するために「絶対に事故をおこさない」ことを誓い、安全へのさまざまな取り組みを行っています。

最重要課題「事故ゼロ」達成に向けた2つの取り組み



SBSグループ運輸安全マネジメント

SBSグループ全体の安全強化を図ることを目的として、SBSホールディングスに「物流品質管理部」を設置しています。また、SBSグループ各社との連携や横通しを図るために、「運輸安全推進会議」を設けて、グループ全体で協調した安全教育および事故防止に取り組んでいます。



安全性優良事業所の取得率が8割に

SBSグループは、各事業所の安全管理体制の適正化とレベルアップを目的に、グループを挙げてGマーク取得を推進しています。昨年までに認定の81事業所に今回16事業所が加わり、認定事業所数は97に増加。取得率は昨年の60%から18%アップし、78%に達しました。これは、全国平均の23%を大幅に上回る数値となっております。今後も取得率アップを図り、安全管理体制の充実に努めます。



安全性優良事業所（Gマーク認定事業所）は、国土交通省から貨物自動車適正化事業実施機関に指定されている（社）全日本トラック協会がトラック運送会社の安全性を事業所単位で評価し、広く公表する制度です。有効期間は2年間。利用者がより安全性の高い事業者を選びやすくとともに、事業者の安全性向上に寄与することを目的に2003年度より実施されています。

会社名	新規取得事業所数	既取得事業所数	Gマーク取得事業所数計	Gマーク対象事業所数	Gマーク取得率
SBSゼンソウ(株)	5	34	39	40	98%
SBSロジコム(株)	3	20	23	34	68%
SBSフレックグループ	2	10	12	18	67%
SBSフレイトサービス(株)	3	7	10	15	67%
SBSトランスポート(株)	0	8	8	8	100%
SBS即配(株)	3	0	3	7	43%
SBSサポートロジ(株)	0	2	2	2	100%
SBSグループ合計	16	81	97	124	78%

2013年の全国平均取得率：23.0%（出典：全日本トラック協会）

点呼のグループ標準化

トラック輸送の確実な安全運行に向けて点呼のグループ標準化に取り組み、独自映像とテキストからなる「点呼実施マニュアル」を初めて作成しました。2013年10月より車両を運行する全事業所に配付。点呼を改めて見直し、さらなる安全運行に努めます。

点呼の重要性

トラック輸送は法律により点呼の実施が義務づけられています。点呼は、乗務前と乗務後に管理者が対面で運転者から日常点検の結果や健康状態、酒気帯びの有無について報告を受けるとともに確認を行い、安全を確保するための必要な指示を行うものです。



社員が実演する点呼シーン

点呼のポイントを纏めたマニュアル



SBSグループ「安全スローガン」

平成26年度グループ「安全スローガン」が決定しました。

平成26年度 SBSグループ「安全スローガン」

SBS GROUP
For Road Owners

**運ぶのは
無事故と品質 いい笑顔**

SBSロジコム株式会社 南砂支店 木前 昌

お客様の期待にお応えするためには『無事故』『確かな品質』が最低条件だと思います。加えて『いい笑顔』もお届けすることができれば、期待以上にご満足いただけるはずです。そんなお客様の気持ちを大切にしたいという想いをこのスローガンに込めました。

また、このスローガンが事故削減につながってくれることを願っています。



SBSロジコム
ビジネス第一営業部
南砂支店 木前昌

安全技量の維持・向上(安全運転研修)



私たち物流事業者にとって「安全」を確保するための運転技術は絶対に欠かさない要素です。お客様からお預かりした、大切な商品を安全・確実にお届けするために、安全運転研修を定期的に開催し、安全技量の維持・向上に努めています。

※2013年からはグループ各社の開催に加え、SBSグループ統一研修会が始まりました。

適性診断システムによる安全管理

SBSグループでは、適性診断システム(NASVA)を導入し、定期的にドライバーの状態(動作の正確さ・判断・動作のタイミング・注意の配分・疲労蓄積度など)をチェックします。



SBSの「安全」を担うドライバーたち

東北

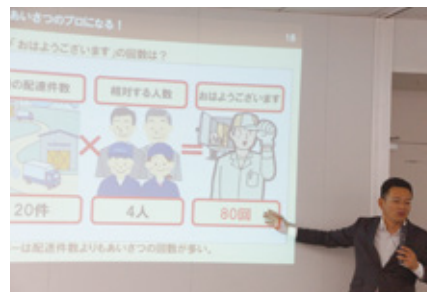


さまざまな体験から自分の技術を確認し、より確かな技術を身につけます。



安全教育の徹底（意識啓発と管理徹底）

運輸安全マネジメントを遂行し、安全を確保するため、ドライバー・運行管理者それぞれに必要な意識の啓発および知識の修得を目的とした教育を実施しています。ドライバー向けには意識の啓発を重点においた「危険予知トレーニング」「健康管理」「CSR（コンプライアンス・安全・環境・社会への取り組み）」のカリキュラムを実施しています。運行管理者、管理・監督職者向けのリスク安全セミナーは運行管理・労務管理をベースにしたマネジメントスキル習得のカリキュラムです。最新の事例や情報も修得できます。



さまざまな角度から安全教育をサポートするカリキュラム

研修名	内容	対象
エコ安全ドライブ研修	エコで安全な運転方法の修得	ドライバー・運行管理者
安全運転研修	安全運転・車両操作の修得	ドライバー
リスク・安全セミナー	最新の運行管理情報の修得	管理・監督者、運行管理者
物流基礎研修	物流全般・物流改善知識の修得	入社3年目クラスの社員
現場リーダー強化研修	現場リーダーの能力向上	現場リーダー（ドライバー・構内）
物流センター長研修	物流品質・労務管理・改善手法の修得	現場管理者、センター長
管理・監督職物流研修	5S徹底による職場の活性化	課長・係長クラス
CSRセミナー	安全・環境・社会への取り組み	全社員
コンプライアンス研修	労務・下請法・経理等の法的ルール	全社員
ラインケア（メンタルヘルス）研修	メンタルヘルスケア	管理・監督者、労務管理担当

ヒヤリハット事例の活用

SBSグループではドライブレコーダーが記録したヒヤリハット映像を収集・分析し、さまざまなケースに対応した事例集を作成。ドライバー・運行管理者向けのKYT（危険予知トレーニング）などに利用しているほか、安全衛生委員会、新人研修の教育素材など幅広い活用を行っています。



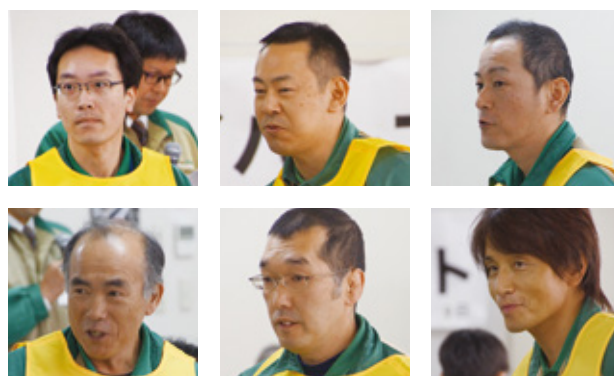
初のドライバーコンテスト

SBSゼンツウが輸配送品質の向上と事故撲滅に向けた研修の一環として初のドライバーコンテストを企画・開催しました。ドラコンは、互いの力量が目に見えることからドライバー自身はもちろん選手を送り出す各事業所も取り組みに力が入ります。また、選手間の交流も深まるなど、多面的な効果が期待できることからグループ内でも注目を集めています。今後、グループ統一大会開催への期待が高まります。



ドライバーコンテスト

日頃の安全教育の成果と安全への意識を競技という形で再確認する場として、道路交通法を中心に理解度を測る学科競技、日常点検の精度と錬度を試す点検競技、車両の操作技能を発揮する運転競技などを行い技量を競い合います。



学科



点検



点検



実技



デジタルタコグラフ・ドライブレコーダーの導入推進

デジタルタコグラフ・ドライブレコーダーなど運行の安全管理に関わる機器の導入を推進しています。既にデジタルタコグラフ・ドライブレコーダーを全車両(900台)に導入済のSBSロジコムをはじめ、各社が積極的に導入を進めています。SBSサポートロジでは、運行管理の合理化と安全教育の強化を図るため、それまで混在(アナログ・旧型デジタル)していた運行管理計の統一を決定。全車両にデジタルタコグラフ内蔵型ドライブレコーダーを導入しました。



バックアイモニターも装備した最新鋭機。路上の危険箇所を地図上に記録できる「マップピン機能」も情報共有の強力な武器



各種走行数値や運転中の画像によって、ドライバー自身に運転の実態を自覚させることが安全意識向上への近道

デジタル タコグラフ 活用の目的

- 運転者の安全運転管理の徹底
- エコドライブの推進による安全運転の促進
- 運転者の労務管理の徹底

ドライブレコーダー 活用の目的

- 安全意識の向上
- 運転特性を把握した安全指導による事故削減
- 映像を基にした安全教育による事故削減

取り組みが事故防止対策事例に

SBSフレックの安全対策が事故防止対策事例として独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)発行の運行管理者一般講習用テキスト2014年度版に採用されました。本テキストは2014年4月から使用され、今後2年間、当社の事例が約20万人の運行管理者の方々に紹介されます。



SBSフレック安全対策概要

- ① 運輸安全マネジメント推進による事故防止
- ② 物流品質事故のルール化と対策の徹底
- ③ 表彰制度の確立と実施
- ④ 物流品質事故防止カレンダーの作成・掲示
- ⑤ 当社独自の安全運転講習会等の開催
- ⑥ ナスバネットの活用

IT点呼の拡大

SBSフレイトサービスがIT点呼対象事業所を拡大しました。東北から関西までの広域トラック輸送を中心に、海上コンテナ輸送(ドレージ輸送)、物流センター運営などの物流サービスを提供している同社は点呼業務の精度強化を図るため、IT点呼対象営業所を現在の2営業所(静岡・下田)から8営業所(東北:青森・盛岡・宮古・仙台、関東:羽生・埼玉(戸田))に拡大しました。今回の拡大により、対象ドライバーは80名になりますが点呼記録がシステム管理されることで点呼の徹底が可能となります。SBSグループでは、SBSフレイトサービスのほか、SBSトランスポート、SBSフレック九州においてIT点呼が行われています。



IT点呼とは



「輸送安全規則」の平成23年3月31日付一部改正により、全日本トラック協会が認定・交付する「安全性優良事業所」(Gマーク)の評価を受けた事業所は、輸送の安全を確保した上で、管轄運輸支局へ届出を行うことでウェブカメラと全自動アルコール検知機を使用した「IT点呼」を実施することができます。

物流品質事故の削減

SBSフレックが「流通品質マニュアルⅡ(現場力点検・庫内作業編)」を発行しました。

SBSフレックはチルド・フローズンを中心に全国食品物流を担う企業です。近年、消費者の「食の安心・安全」に対する注目度は高まる一方であり、食品サプライチェーンの管理レベルの向上および輸送中の温度管理の徹底が求められるようになりました。こうした中、同社は輸配送事故による遅延や商品破損を防止するため、先に「流通品質マニュアルⅠ(運送編)」を発行し、委託先を含めた全ドライバーに配付。運送上の品質管理の徹底を図りました。そして今回、庫内作業における品質管理と労働安全をテーマにした「流通品質マニュアルⅡ(現場力点検・庫内作業編)」を発行して物流品質事故の削減・ヒューマンエラーの撲滅を図ります。同社は「全員で力を合わせて事故ゼロに」を合言葉に高品質なサービス構築を目指します。



輪止めを一新

SBSロジコム、SBSフレイトサービス、SBSトランスポート(車両1,200台)が輪止め(車輪止め)を従前の黒からトラックキャビンと同色(SBSドリームカラー)のオレンジに変更しました。輪止めは駐車時に車が動きださないようにするためのストッパーですがその徹底は難しく、「輪止めを見れば会社の実力が分かる」とも言われています。その輪止めを目立つ色に変更し「安全をお見せる(見られる)」ことで装着の徹底を図ります。



環境への配慮

環境問題が深刻化する中、企業活動における環境への配慮は非常に重要な経営課題です。

SBSグループは、主力事業である物流を中心に「車両」「施設」「社員」の3つの経営資源に着目して環境負荷の軽減に取り組み、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

SBSグループ環境マネジメント

私たちSBSグループは、環境保全に関する基本的な行動方針「SBSグループ環境方針」に則り、計画を立案、実行しています。

SBSグループ環境方針

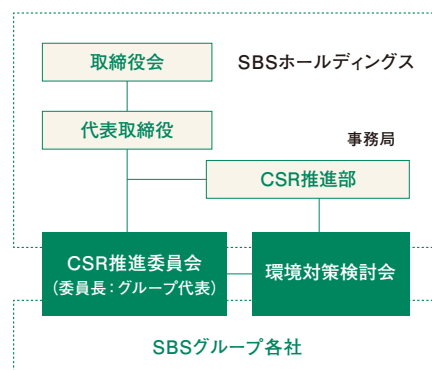
基本理念

SBSグループは、環境問題が地球的規模を持つと共に、次世代以降においても重要な問題であるとの認識を堅持いたします。社会的責任を全うした健全な事業活動を通じ、経済と環境が両立する持続可能な循環型社会構築の一助となるよう努力いたします。

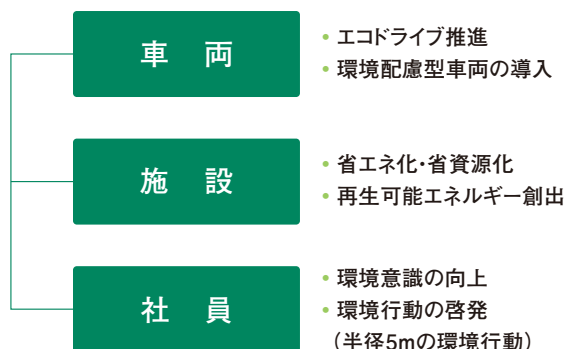
基本方針

1. 資源・エネルギーの有限性を認識した上で、有効活用に努めてまいります。
2. 廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルおよび適正処理を実施いたします。
3. 国内外の環境関連法規を遵守いたします。また、グループ各社は同意した協定等を遵守いたします。
4. 環境教育・啓発活動を通じて全社員が本方針を周知徹底、実践いたします。
5. 直面した環境問題に対し、グループ各社の垣根なく、能動的かつ機動的に対応してまいります。

SBSグループ環境マネジメント体制図



環境対策3つの柱



SBSグループ中期環境計画

「環境アクションプラン2017」

2009年のCO₂排出量85,000トンを基準に、
2017年までに、CO₂全体排出量を
基準より15%以上削減することをめざす

環境アクションプラン2017

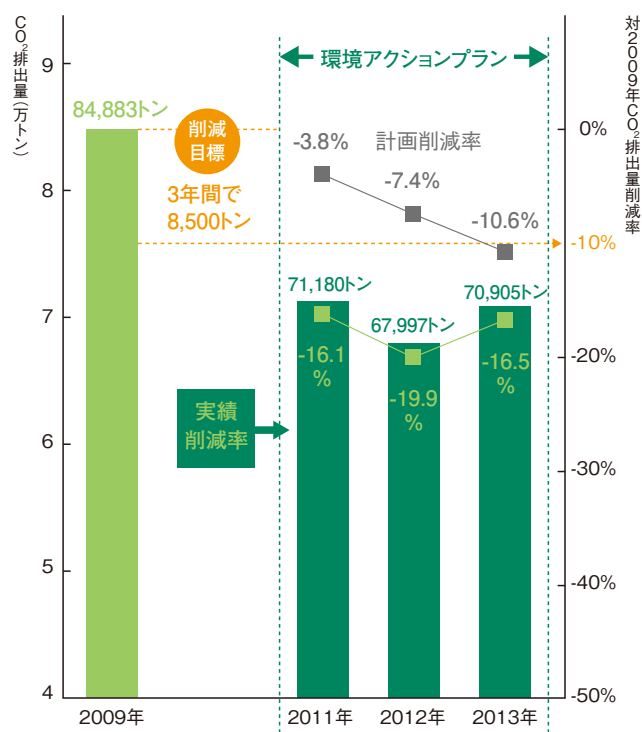
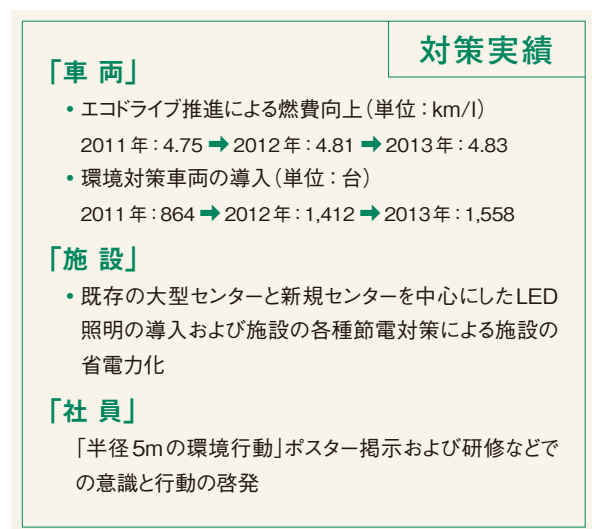
重点課題

エコドライブの浸透

エコ・安全ドライブ研修受講者数と環境配慮型車両数の増強

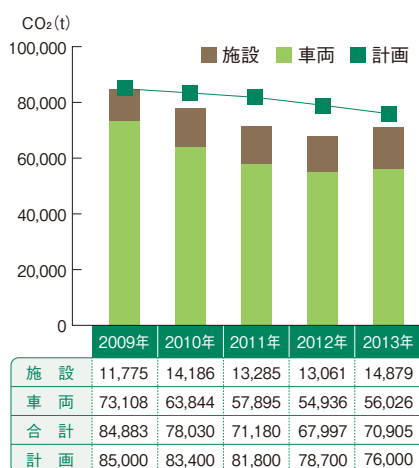
環境アクションプラン2013結果報告

2011年度から2013年度までの3年間でCO₂排出量を8,500トン(2009年度比10%減)減らす「環境アクションプラン2013」は、最終の2013年度も削減率16.6%となり3年連続で目標の10%減をクリアし終了いたしました。

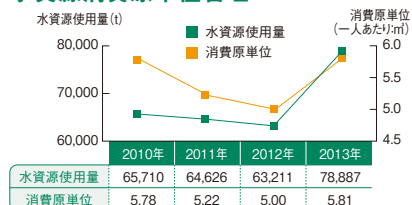


2013環境データ

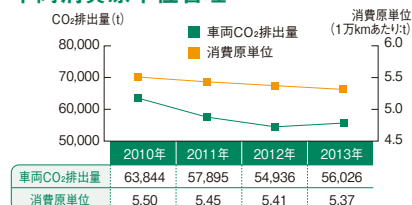
CO₂排出量の計画と実績推移



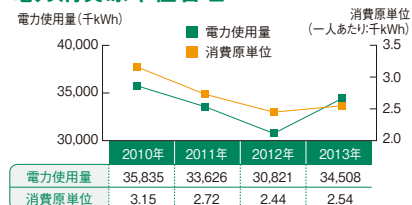
水資源消費原単位管理



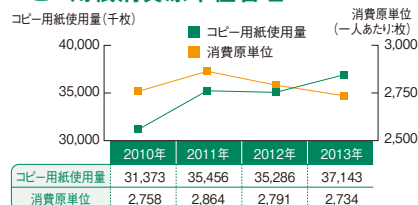
車両消費原単位管理



電力消費原単位管理



コピー用紙消費原単位管理

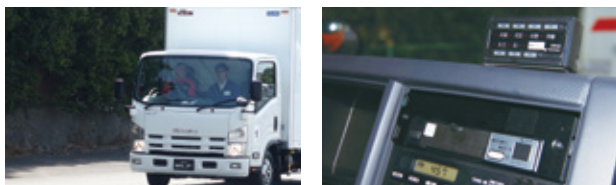


2013年度結果(対前年比)

2013年度のCO₂排出量の増加内訳は、車両系で1,090トン(前年比2%増)、施設系で約1,818トン(同13.9%増)です。増加理由は、車両系は年度後半の荷量増加に伴う走行距離の伸長、施設系は3PL事業など物流施設等の利用拡大に伴う使用電力量の増加によるものです。また、その他資源も電力量と同様の理由により増加しています。なお、車両消費原単位は前年比-0.4%と小幅ですが毎年確実に向上しております。

エコ・安全ドライブへの取り組み

燃料消費・CO₂排出を抑制するエコドライブ推進は、SBSグループの環境対策の柱であり、さまざまな取り組みがエコドライブを推進する要素となっています。



SBSグループのエコドライブ推進

- ・エコ・安全ドライブ研修（2009年からの延受講者数：1,019人）
- ・「半径5mの環境行動」などによる意識啓発
- ・グリーン経営認証の取得
- ・デジタルタコグラフの活用
- ・東京都貨物輸送評価の取得

環境配慮型車両の導入

SBSグループでは輸配送の条件や用途、燃料補給のインフラなどを考慮して、最適な低公害車を選定し、既存車両からの切り替えを積極的に進めています。その結果、環境配慮型車両の台数は1,558台となりました。燃費効率が普通車両より劣る中型冷凍車は、ハイブリット仕様の車両を導入するなどCO₂の排出削減を図っています。

新長期規制適合車	835台
ハイブリッド車	42台
CNG車	81台
LPG車	600台
(低公害車計)	1,558台

環境配慮型センターの開発

SBSグループでは新規施設の環境対策と既存施設の省エネ化を促進しております。一昨年よりオールLED、太陽光発電を備えた大型物流センターが本格稼働を開始しました。非常用発電機、耐震構造採用とBCPにも寄与できるインフラを備えています。お客様には環境・災害対策の両面で安心をご提供しております。



野田吉春物流センター
延床面積：3万1,635㎡
LED：2,500基超
(従来比24%の消費電力削減効果を実現)
太陽光発電量：56万kWh/年

再生可能エネルギー創出

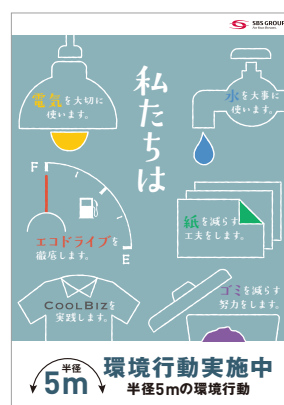
SBSグループの再生可能エネルギー創出の要である芝山太陽光発電所(千葉県山武郡)が2013年8月より運転を開始しました。屋上発電設備を敷設したSBSロジCOMの千曲物流センター、川越物流センター、野田吉春物流センター、エーマックスの西日本ロジスティクスセンターと合わせグループでは5箇所での稼働となります。合計年間発電量は約500万kWhで年間約3,000tのCO₂排出抑制を行っています。



芝山太陽光発電所上空からの写真

意識向上と行動啓発(半径5mの環境行動)

SBSグループが従業員の環境意識の向上と環境行動の啓発のために掲げた「半径5mの環境行動」スローガンも2年目を迎えました。ポスターデザインを一新し、6つの環境行動を呼びかけています。



私たちは

- ・節電します
- ・水を大切に使います
- ・紙を減らします
- ・エコドライブをします
- ・ゴミを減らします
- ・Cool bizを実践します

環境関連認証取得状況

認証	社名(事業所数)	合計
ISO14001 (環境マネジメントシステム)	SBSロジCOM (4) SBSフレイトサービス (15) SBSゼンツウ (5) SBSサポートロジ (2)	26
グリーン経営認証	SBSロジCOM (2) SBSトランスポート (3) SBSフレック中部 (3)	8

輸配送が環境商品 (GPN認証)

SBSロジコムの輸配送サービスがグリーン購入ネットワーク (GPN) が運営する環境情報の検索総合サイト「エコ商品ねっと」の輸配送部門の輸配送サービスに認定されました。燃費取組状況、低公害車やEMS機器、リトレッドタイヤ導入などの環境配慮と燃費取組の両方において第三者評価を得ていたことが大きな材料となりました。



※第三者評価とは環境マネジメントシステム認証 (ISO14001、グリーン経営認証、エコアクション21、KES、エコステージ、その他の地方版EMSを含む) や、燃費取組 (東京都貨物輸送評価制度、グリーン・エコプロジェクト、燃費におけるJ・クレジット創出) の評価を指します。

環境経営度調査上位にランク

SBSグループは、日本経済新聞社が実施した第17回「環境経営度調査」において運輸部門第4位にランキングされました。当グループは、第15回 (2011年) より参加し13位、第16回 (2012年) が6位。そして、今回は4位にランクアップしました。特に「温暖化対策」について高い評価を得たことは、これまでグループを挙げて取り組んできたCO₂削減および省エネ等、環境配慮の成果が評価されたものと受け止めています。SBSグループは今後も環境配慮を重要な経営課題と位置付け、運輸安全確保と共にCSR経営の軸として推進してまいります。

SBSグループ 環境経営度	順位	スコア	環境経営 推進体制	汚染対策・ 生物多様性 対応	資源循環	温暖化 対策
第17回 (2013)	4	339	91	74	80	94
第16回 (2012)	6	308	69	64	87	88
第15回 (2011)	13	220	66	38	37	79

※本調査は、日本経済新聞社が1997年から毎年実施しているもので、非製造業は「環境経営推進体制」「汚染対策・生物多様性対応」「資源循環」「温暖化対策」の4つの視点から企業の環境経営度を評価 (400点満点) し、総合的な順位付けが行われます。非製造業は2461社にアンケート調査を行い、306社が回答。内運輸業は24社

モーダルシフトの推進

幹線の貨物輸送をトラック輸送から、大量輸送機関である鉄道または海運に転換するモーダルシフトの需要が高まる中、SBSグループにおいても2012年が107%、2013年が109%と輸送重量が確実に増えています。輸送手段を鉄道などに転換することで、環境負荷の低減に加え、エネルギーの効率的な利用、トラックドライバー不足への対応を図ることができます。環境社会への対応を図るため、モーダルシフト輸送への切り替えをお客様に提案し、社会的貢献につながる輸送手段の提供を行ってまいります。



モーダルシフトはSBSロジコム・SBSトランスポートにて実施されています。写真はSBSロジコム東京貨物ターミナル支店。

静脈物流事業の展開

ゼロ・エミッションを目指して

SBSグループでは資源循環もサポート可能です。SBSサポートロジは廃棄物やゴミの収集・運搬を専門とした静脈物流事業を行っています。中間処理工場も自社で保有しており、廃棄物の分別、解体、破碎、圧縮および再び素材、原料に戻す再生資源製造が可能です。素材として再利用できないものは工業原料やエネ



横浜事業所

【処理対象】

廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず・がれき類

【保有設備】

50tトラックスケール
フロンガス回収装置、磁気記録媒体破壊装置



ギーとして活用するなど徹底したリサイクルを行うことが特徴であり、ゼロ・エミッションの実現に向けて日夜取り組んでいます。

※ゼロ・エミッションとは、廃棄物をリサイクルすることで最終的に埋立処分となる廃棄物を排出しないこと

SBSサポートロジ 廃棄物処理量

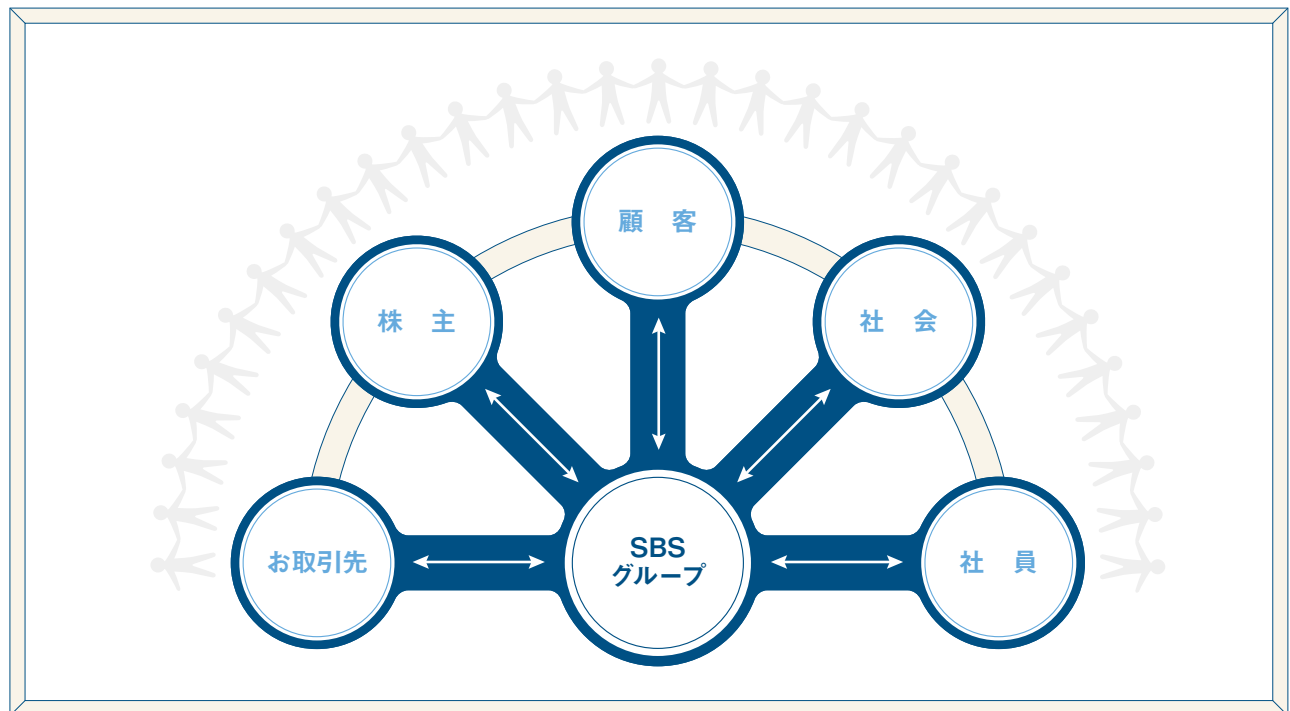
品目名称	全処理量 (単位: t)
廃プラスチック類	5,862 (223)
再生プラスチック	332 (21)
金属くず	1,835 (76)
木くず	403 (46)
紙類・その他	3,052 (37)
合計	11,484 (427)

※ () はグループ内

社会との調和

私たちSBSグループは、社会を構成する一員として、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを大切にし、社会との調和をはかり、安心と信頼の関係構築に努めてまいります。

ステークホルダーとの関係構築



私たちは以下のことを必ず遵守し、ステークホルダーとの関係維持に努めます。

顧客との関係	• お客様第一主義 • お客様情報の適切な管理 • 説明義務の履行 • 適切な契約締結
株主・投資家との関係	• 適時・適切な情報提供 • インサイダー取引の禁止 • 適正な会計処理
取引先との関係	• 対等公平な取引関係の構築 • 便宜供与の禁止 • パートナーシップの構築
従業員との関係	• 適正な労働慣行 • 多様性の尊重 • 安全と健康の管理 • 人材育成
社会との関係	• 社会貢献 • 適正な業務の遂行(法令遵守) • 安全確保 • 環境保全 • 反社会的勢力の排除

人材育成の取り組み

SBSグループが、さらなる成長発展を遂げるための推進力となるのは、「人財(人材)」にほかなりません。例えば、3PLを強化していくためには、優れた人間力と、高度な専門知識・スキルを備えた問題解決型の人材を必要とします。従来型の営業手法や現場作業の知識・スキルだけでなく、お客様の課題を引き出す力と、それを解決する力、さらに、コミュニケーション力、社会情勢に対する理解力など、さまざまな能力が必要です。私たちの仕事は、全て人が考案し、伝達し、実践することによって成り立っており、お客様の期待に応え、私たちの存在意義を高めて成長・発展していく。そのための原動力は「人財(人材)」です。



2013年度SBSグループ統一教育研修(研修名と受講人数)			
現場リーダー強化	40	物流基礎	23
中堅社員	20	管理・監督職物流	21
ラインケア(メンタルヘルス)	46	管理職基礎	27
新入社員	34	アサーション	23
コーチング	20	監督職アドバンス	16
営業力強化[基礎知識]	41	新入社員フォローアップ	33
管理監督職物流	20	物流センター長	17
社会人3年目	23	管理職アドバンス	18
営業力強化[PSS]	26	途中入社フォローアップ	14
営業力強化[ADS]	22	上級管理職向け講演	92
監督職基礎	27		
合計		603名	

安全と健康の管理

職場何でも相談室

「職場何でも相談室」は、メンタル面や職場の人間関係に関する相談、労務問題に関する相談、不正、パワハラなどのコンプライアンスに関する相談など、幅広い内容に対応しているSBSグループ共通の相談窓口です。



メンタルヘルスケア

SBSグループではメンタルヘルスケアの重要性を重んじ、ライン職と安全衛生委員会を中心にメンタルヘルスケア・健康管理に関する諸知識修得のためのセミナーを定期開催し、快適な職場づくりに努めています。



SBSグループ人材育成理念

- 1 経営戦略／人事戦略の一環としての教育研修
- 2 社員の生涯教育を通して「人的資産」を蓄積
- 3 自己研鑽／自己成長意欲の啓発

2014年教育研修大方針

“人間力の強化と専門知識・スキルの一層の向上”

教育研修実施上の基本方針

- 1 SBSグループ統一メニューの教育研修を実施
グループシナジー効果、教育資源の有効活用 等
- 2 人事施策と連動し、体系的、段階的かつ継続的な教育研修の実施
生涯教育プログラムの構築・階層、職務に応じたスキルアップ教育 等
- 3 自己啓発の促進
通信研修(教育)・資格取得等に対する積極的な助成

目標とする人材像

- 1 自分の頭で考え、行動できる「自律型」の人材
- 2 チャレンジ精神旺盛な「開発力」をもった人材
- 3 高度な専門性を身につけた「知恵力」のある人材
- 4 常に「お客様志向の目線」をもった人材
- 5 公正・無私・法令遵守の「強い倫理観」をもった人材

AEDの積極導入

AEDの積極導入を行っています。SBSロジコムは従業員カバー率が90%に達しました。この他SBSサポートロジ、SBS即配が全事業所への設置を完了しています。



ボーダレス社会に就いて

交通や通信手段の発達により、人、金、物、情報が、国境をこえて自由に移動する社会、すなわちボーダレス社会を迎えています。SBSグループは、アジアを中心とした国々においても事業展開を進め、グローバルなサプライチェーンを求める企業の物流ニーズに応えてまいります。

SBSグループの海外事業展開



品質管理 (品質マネジメント他取得状況)

認証	社名 (事業所数)	合計
ISO9001 (品質マネジメントシステム)	SBSゼンツウ (16) SBSフレイトサービス (15) SBSフレック東北 (6) SBSフレック関東 (2) SBSフレック中部 (4) SBSフレック関西 (4) SBSフレック九州 (2)	49
プライバシーマーク	SBSスタッフ SBSサポートロジ	2
ISO27001 (情報セキュリティ マネジメントシステム)	SBSロジコム西船橋支店	1

社会貢献&コミュニケーション 2013

目的意識の共有 (エコキャップ回収)

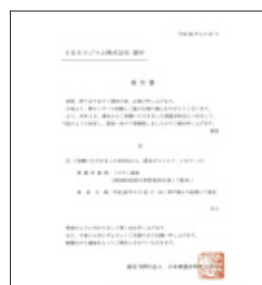
2009年からスタートし、グループ全体で行われているエコキャップの回収運動。2014年1月末時点で回収数が100万個を突破しました。CO₂排出量で7トンの削減に相当、ポリオワクチンでは1,170人分に相当します。



2014年6月末現在の数値

累計：1,113,360個／CO₂発生抑制：8,156kg／ワクチン提供：1,294人分

旧ユニフォームを寄付



SBSロジコムがブランド統一で不要になった旧ユニフォーム(新品16箱)をNPO法人日本救援衣料センターに寄付しました。ユニフォームはソロモン諸島に救援物資として送られ、同国の災害管理局を通じて配布されたとのことです。

その他の活動

活動	社名
近隣清掃／児童虐待防止キャンペーン参加／フードバンク協賛	SBSゼンツウ
盲導犬育成協力	SBS即配 SBSフレイトサービス
近隣清掃	SBSフレイトサービス
近隣住民意見交換会／自治会と連動したパートタイマー雇用施策	日本レコードセンター
動物愛護活動協力	SBSスタッフ
近隣交差点での誘導／障害者支援／職場実習体験受入れ	SBSフレック東北
近隣交差点の交通監視	SBSフレック中部
小学生社会科見学への協力／障害者訓練校からの受入れ雇用	SBSフレック九州 大分支店 豊海営業所
近隣清掃／近隣住民交流会への協賛	SBSフレック北海道 SBSフレック 北海道事業部
フードバンク協賛	SBSフレック 東北事業部
近隣清掃／使用済切手・エコキャップ寄付／地域合同パトロールへの協力	SBSフレック 関西事業部



新しいステージに向かって

ブランド統一

(新ロゴマーク、物流14社の社名変更、統一ユニフォームの導入などのCIを実施。)

グループシナジーを最大限に発揮させるために、グループのシンボルマークを一新しました。過去をひきづったマークでは一体になれないと思ったからです。シンボルの赤は熱い集団になろうという想いが込められています。そして、新しい夢を持った、新しいスローガンで、新しいステージに向かって突き進みます。



SBS GROUP
For Your Dreams.



新ユニフォームはブランド統一のシンボル

ユニフォームの統一についてはCIとは別に以前から計画を進めていました。グループ各社からのメンバーが毎月1〜2回の検討を重ね、最終決定までには社員を対象にしたアンケートや試着テストなどを繰り返し、ポケットの有無や位置など、細かな要望まで現場の意見を反映するように努めました。



東京証券取引市場第一部に上場

2013年12月16日、東京証券取引所市場第一部へ上場を果たすことができました。
2003年12月にジャスダックに上場して10年の節目であり、
2012年の東証二部上場から1年。グループ一丸となって達成できました。
これからは新生SBSグループとして成長速度を加速させていきます。



SBSグループとステークホルダーの皆様をつなぐツール



グループ各社Webサイト



株主様向けビジネスレポート



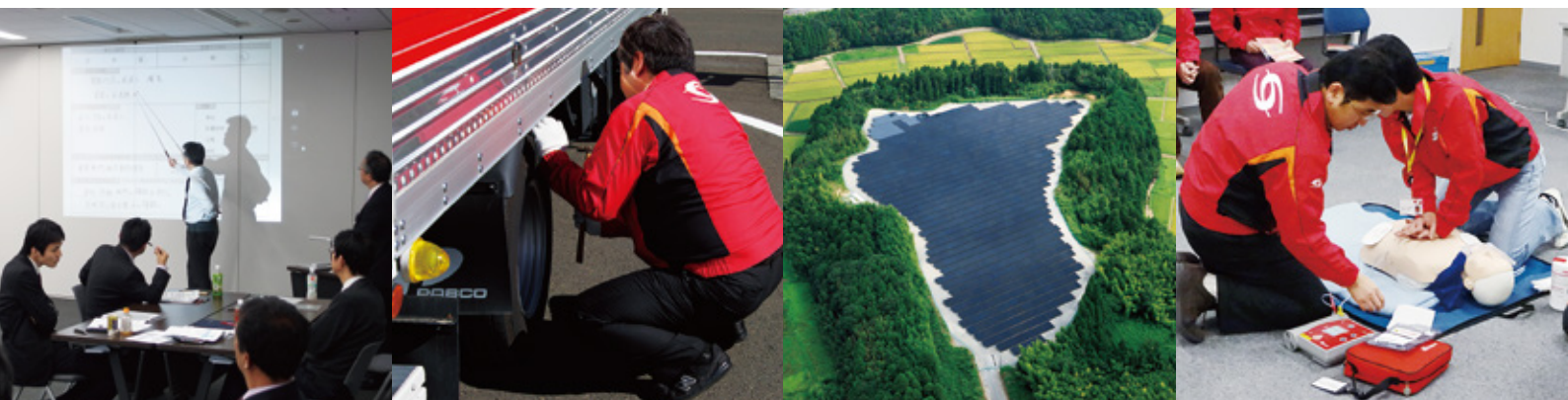
ステークホルダー向け CSRレポート



グループ従業員向け社内報



グループ従業員向け CSR NEWS



[問い合わせ先]

SBSホールディングス株式会社
CSR推進部

〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3

☎ 03-3829-2367 / 📠 03-3829-2822

💻 <http://www.sbs-group.co.jp/>

